

共に歩んで50年 ア市代表団を囲み市民交流会を開催

平成 21 年 10 月 4 日、姉妹都市提携 50 周年記念式典と記念品除幕式に引き続き、尼崎市総合文化センター「玉翔の間」において、アウクスブルク市代表団を歓迎する市民交流会を開催し、158 名が出席しました。

尼崎市少年音楽隊の合唱

市民交流会は、尼崎市少年音楽隊の可憐な歌声で幕を開け、「天まで駆けるよ」「手紙」「野ばら」「Good-Bye また明日ね」の 4 曲を披露しました。特に、「野ばら」は、ドイツ語での合唱に挑戦し、見事に歌い切りました。



尼崎市少年音楽隊の合唱

尼崎市国際交流協会吉田豊会長 挨拶

尼崎市国際交流協会の吉田会長から、姉妹都市提携 50 周年を祝うとともに、今後もさらに両市間で草の根の交流が続くことを願う挨拶がありました。



挨拶する尼崎市国際交流協会吉田会長

尼崎市長 挨拶

引き続き、白井市長から、両市のこれまでの 50 年を振り返るとともに、これからの 50 年に大きな一歩を踏み出す大切な一日をともに迎えられたことに対する感謝の意が述べられました。



挨拶する白井市長

ドイツ総領事館シュテファン・ビーダーマン副総領事による乾杯

姉妹都市提携 50 周年記念式典にも出席された大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館ビーダーマン副総領事から乾杯のご発声がありました。



ビーダーマン副総領事

歓談

代表団のいるテーブルには、それぞれボランティア通訳が配置され、言葉の壁を感じることなく、楽しい会話に花が咲いていました。



玉翔の間での歓談風景

アウクスブルク市長による団員紹介と挨拶

次に、グリーブル市長が団員とともに舞台上上がり、代表団員を一人ひとり紹介し、サプライズで団員全員による合唱がありました。オープニングで尼崎市少年音楽隊が歌った「野ばら」も披露し、会場は大いに盛り上がりしました。



「野ばら」を歌う代表団

記念品贈呈

イラストレーター大音恭豊氏のアウクスブルク市風景イラストが入った姉妹都市提携 50 周年記念切手と緑茶が尼崎市国際交流協会から記念品として贈られました。

また、白井市長からは、アウクスブルク市の市章である松ぼっくりをデザインした組紐の携帯ストラップ(宮原万里子氏作)が贈呈されました。

なお、組紐を制作した宮原氏は平成 16 年に優れた組紐の技術により尼崎市文化功労賞を受賞しています。

日本舞踊披露

郷土民謡の師範で、平成 11 年に尼崎市文化功労賞を受賞した青山静子先生に、祝いの席で披露されることの多い山形県の民謡「菊と桔梗」を踊っていただきました。



青山静子先生

交流関係者へのインタビュー

これまでに両市の友好交流に携わった日本庭園築造関係者や尼崎市青年使節団 OB・OG を紹介し、当時の思い出を語ってもらいました。



日本庭園築造関係者へのインタビュー

大正琴演奏

アウクスブルク市代表団歓迎市民交流会の最後に大正琴バンド「万華鏡」の皆さんが「ローレライ」「高原列車は行く」「ふるさと」「ラデツキー行進曲」の 4 曲を演奏しました。「万華鏡」の皆さんは、平成 21 年 4 月 4、5 日にアウクスブルクで開催された春の見本市日本展で大正琴を演奏されました。(詳しくは 3 ページをご覧ください。)今回は訪独の際にアウクスブルク市から贈られたおそろいのスカーフをつけて演奏されました。



おそろいのスカーフで演奏する万華鏡の皆さん



最後に全員で記念撮影